

学生の学びをバックアップし、社会の発展に貢献していくために。

日本女子大学

JWU Education Center for Social Collaboration

社会連携教育センター



日本女子大学社会連携教育センターは、本学における研究や教育資源を活用しながら、本学と社会や地域が連携して社会や地域の議題解決のための事業を推進していくことを目的とする組織です。



日本女子大学

日本女子大学は、日本初の組織的な女子高等教育機関として創立し、2021年に120周年を迎えました。私立女子大学唯一の理学部を有し、文理融合の教育環境をもつ女子総合大学です。

「私が動く、世界がひらく。」のタグラインのもと、自ら学び、自ら行動し、新しい価値を創造できる人材を育てています。

2024年度は「建築デザイン学部」を開設し、2025年度には「食科学部」を開設しました。

さらに2026年度に文学部2学科の名称変更を予定し、2027年度には「経済学部（仮称）」の開設（構想中）、2028年度には「ファッションデザイン学部（仮称）」および「人間科学部（仮称）」の開設（構想中）と、継続して大学改革を進めていきます。

※ 2026年4月現在の情報になります。詳しくはHPをご覧ください。



日本女子大学社会連携教育センター
JWU EDUCATION CENTER FOR SOCIAL COLLABORATION

社会連携教育センターとは

創立以来、学生、卒業生、教職員による多種多様な社会貢献の先駆的取り組みを行ってきた日本女子大学。本学の過去から積み上げた地域連携・社会貢献の実績、強みを活かしながら、社会連携教育活動を全学的に推進し社会に発信する専門的検討機関として、2020年4月に「社会連携教育センター」が設置されました。

社会連携教育センターは、日本女子大学の教育理念である三綱領「信念徹底」、「自発創生」、「共同奉仕」に則り、本学の学生・生徒や教職員、卒業生などによる人的資源及び知的資源をもって、学外の教育研究機関、企業その他の団体、地域社会等との連携を推進する全学的組織として、各分野の教職員・学生の参画により社会に貢献することを目的としています。



地域社会への貢献

教育・研究資源を活用することによって
地域社会や産業界の課題の解決を進めます。

◆自治体との連携協定に基づく事業推進



板橋区教育委員会連携事業
「中台延命寺所蔵資料調査および
調査書作成ボランティア」



高知県高岡郡桝原町「相互協力に
関する協定締結記念イベント」



日本総合住生活株式会社（JS）
「住まい・団地・まちづくり」論文・制作賞



岩手県盛岡市との包括連携協定締結式

主な連携協定締結自治体

●近隣自治体



●遠方自治体



北海道日高管内 7 町



地域社会への貢献

本学の教育・研究資源を活用することによって地域社会の課題の解決を進めることを目的に、日本女子大学が立地している東京都文京区をはじめ、近隣地域や遠方地域と連携したさまざまな取り組みを行っています。

※各取り組み例は、2025年度までに実施したのものになります。

文京区との取り組み例

■ 文京区妊産婦・乳児救護所としての活動

本学は、文京区の被災した妊産婦や乳児を一時的に受け入れ、避難生活の支援や医療・健康相談を行う緊急避難所としての「妊産婦・乳児救護所」活動を受託（区内4大学の1つ）

文京区

相互協力に関する協定

目白キャンパスでの
救護所運営

救護所の開設・運営については文京区、本学の学生・教職員が一体となり検討

学生



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY



教職員



大地震などを想定した
訓練を定期的実施

■ 健康・体力増進事業について

幼児の運動遊びの充実と運動意欲の向上を目的として、区立幼稚園の園児の体力維持向上に向けた講義、研修会といった取り組みや、体力向上イベントの実施などを行っています。



「クライミングに
チャレンジしてみよう！」

文京区立幼稚園教職員を
対象とした研修会

■ 地域住民を対象とした 「文京避難所大学」について

2019年度より実施している、文京区との協働プロジェクト「文京区防災士・防災リーダー全体会 文京避難所大学」において、地域の防災人材を育成する実践的なリーダー研修を実施しています。



地域住民を対象とした「文京避難所大学」

近隣自治体との取り組み例

川崎市多摩区



多摩区3大学コンサート
(明治大学・専修大学・日本女子大学)



多摩区をフィールドとした調査・研究
「大学・地域連携事業」

板橋区教育委員会



板橋区教育委員会連携事業
「中台延命寺所蔵資料調査および調査書作成ボランティア」



板橋区立中央図書館連携事業
「歌ってあそぼう わらべ歌！」

※各取り組み例は、2025年度までに実施したのものになります。

遠方自治体との取り組み例

北海道日高管内7町

(日高町・平取町・新ひだか町・新冠町・浦河町・様似町・えりも町)



保育施設における運動支援活動



浦河町産夏いちごのメニュー開発
(北海道フェア in 代々木での販売)

岩手県盛岡市



盛岡市玉山地方に在来している
「雁喰豆(がんくいまめ)」の商品開発



板橋区

文京区



日本女子大学
NIPPON WOMEN'S UNIVERSITY

川崎市多摩区

高知県梶原町



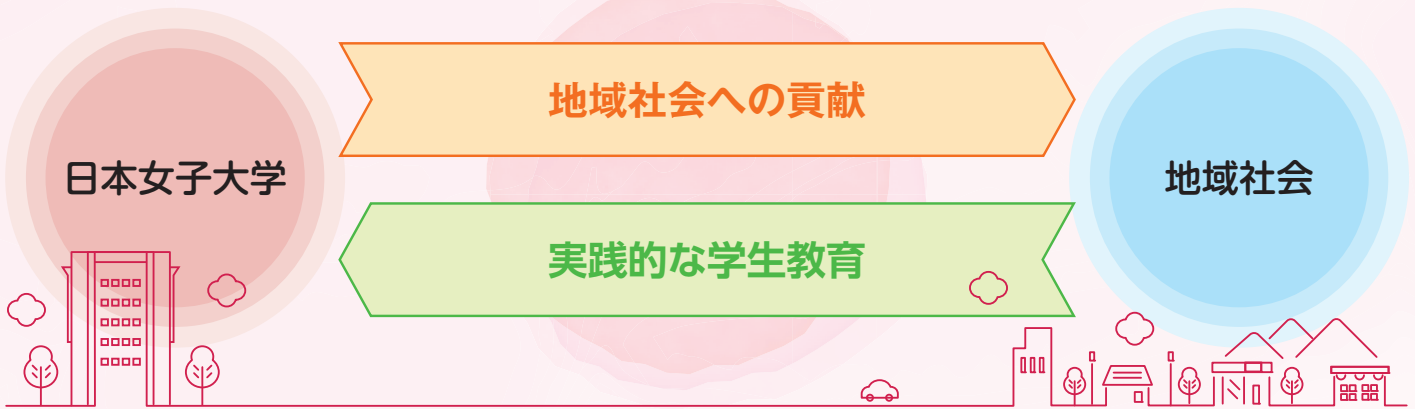
国際文化学科「脱教室・脱キャンパス型」の実習科目

自治体との取り組み例の紹介

○ 文京区学生と創るアグリノベーション事業

岩手県盛岡市が抱える農業分野の課題を題材に、学習、実践の場として実習・検証し、地域農業の事業について地域と共に取り組む事業に参加しています。

本学における社会連携・社会貢献活動の推進



実践的な学生教育

地域社会の資源や現場を活用し、地域の方々のご支援・ご協力を頂きながら実践的な社会連携教育を実現します。

- ◆ JWU社会連携科目
- ◆ 社会連携活動支援助成
- ◆ 正課外イベント



SDGs に関する情報発信

日本女子大学 SDGs

本学教員が研究や社会連携活動を通して得られた情報、技術を SDGs 特設サイトを通して発信しています。学生の意識醸成、社会における SDGs 推進への貢献を目指します。

<https://www3.jwu.ac.jp/sdgs/index.html>

日本女子大学×SDGs 特設サイト



The screenshot shows the website's layout. At the top left is the JWSU logo and 'SDGs' text. Below it is a graphic with 'Sustainable Development Goals' and 'SDGs' icons. The main content area is divided into sections: '持続可能な開発目標 (SDGs)' with a brief introduction, and '取り組みたい目標' (Goals we want to take on) which lists specific activities and their impact. The bottom right features a grid of smaller images and text boxes detailing various projects.

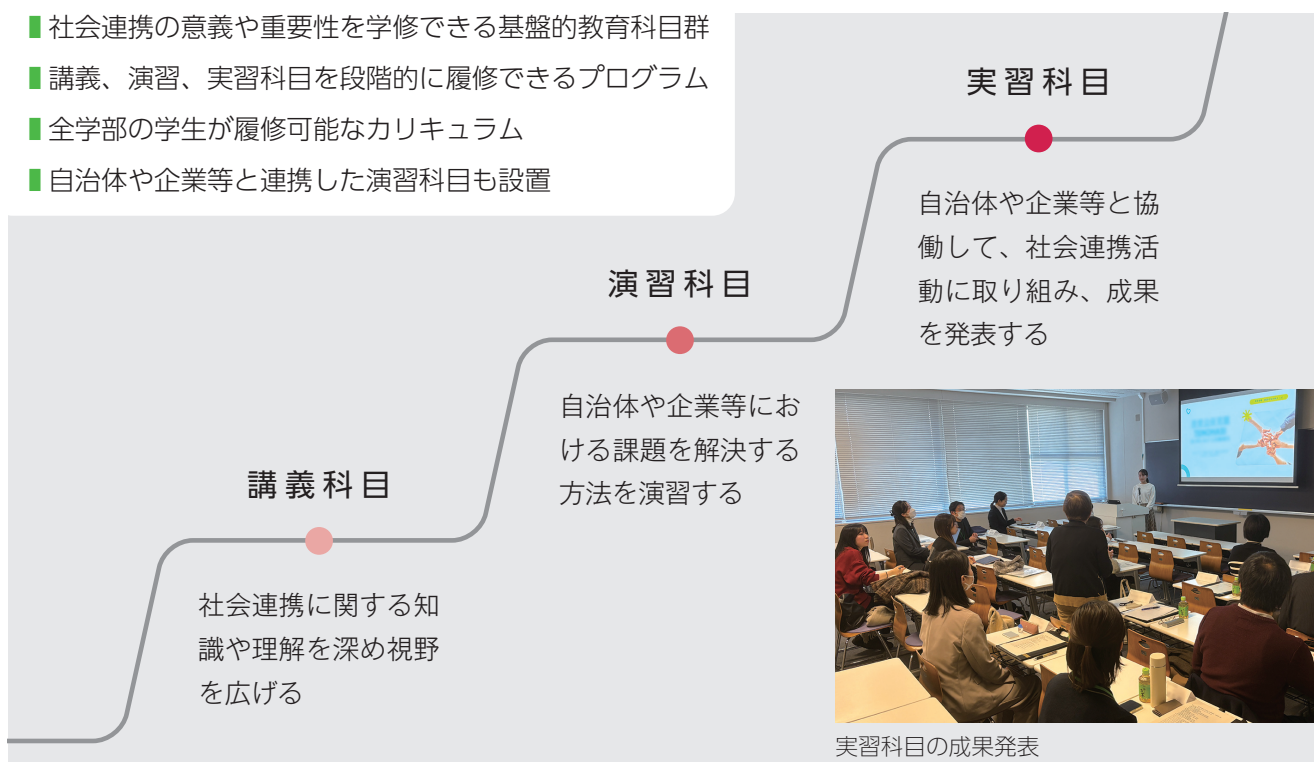
実践的な学生教育

実践的教育活動では、地域社会の場をお借りし、地域の方々のご支援・ご協力も頂きながら、本学学生に対する社会連携教育を実現しています。また、学生の自主的な社会連携活動を支援する「社会連携活動支援助成」制度を設けるとともに、正課外学修支援の一環としての各種イベントなども開催しています。

JWU 社会連携科目 ※ JWU とは、日本女子大学 (Japan Women's University) の略称

JWU 社会連携科目の特徴

- 社会連携の意義や重要性を学修できる基盤的教育科目群
- 講義、演習、実習科目を段階的に履修できるプログラム
- 全学部の学生が履修可能なカリキュラム
- 自治体や企業等と連携した演習科目も設置



実習科目の成果発表

JWU 社会連携科目 (2025 年度)

講義	社会課題とNPO・NGO
	ボランティア概論
	企業と社会連携
	社会連携を学ぶ A
	社会連携を学ぶ B
	地域・社会課題を学ぶ

演習	課題解決型ワークショップを用いた企画開発
	社会における ICT、データサイエンス活用 A
	社会における ICT、データサイエンス活用 B
	地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト演習 A
	地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト演習 B
	地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト演習 C
実習	地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト演習 D
	社会連携・社会貢献活動

社会連携教育認定プログラム

地域課題への理解を深め、解決力を育成するプログラムです。1年次は講義で視野を広げ、2年次以降は自治体や企業と協働し実践的に学びます。指定された科目群の単位を修得すると、修了証が発行されます。

社会連携活動支援助成

目的・制度

学生が自由な発想で取り組む社会連携活動に対して、活動を通じた学びを応援し、より良い成果をあげていただくために、活動経費の一部を助成します。

選考のうえ採択されたチームは、年度末に活動報告会で活動を通して学んだこと、経験したことを報告します。

在学中に、より充実した社会連携活動を経験し、実社会で真に役立つ実践力を身に付けることを目的としています。



活動報告展示



活動報告会

採択された活動テーマ

- アフガニスタンの歴史や文化の重要性に関する周知啓発
- 日本女子大学付近の飲食店と連携し地域の活性を行う
- 学園キャンパスの成り立ちおよび歴史を知ってもらおう
- 探求クラブ～みんなで一緒にサイエンス～
- 日高地区で小学生向けのワークショップの取り組み
- 日本女子大学育食ボランティアグループ（公認同好会有志）による地域食育・公衆栄養活動
- 北海道日高管内の保育施設における運動支援活動
- 北海道から離れた地域にアイヌ文化をひろめる
- 東日本大震災の被災地の現状を大学生に伝える 他

※ 2025 年度開催例

正課外イベント

学生満足度
90%以上!

- 地域における多様な課題に対する理解の促進
- 実践的活動への参画のための機会を提供
- 地域課題解決のための実践的活動への関心を醸成

【地域交流イベント】

本学社会福祉学科共催
「あつまれ！！さんた村
～一緒につくるクリスマス～」

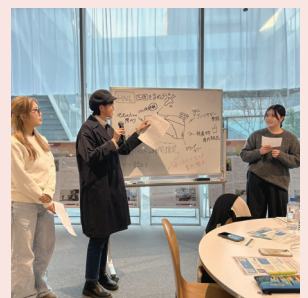
対象：本学学生、一般の皆様



【産業界連携イベント】

株式会社 JAL 航空みらいラボ
共催
「JAL 社員と考える SDGs」

対象：本学学生



【地域連携イベント】

文京区社会福祉協議会共催
「点で打つ文字の世界を体験しよう」

対象：本学学生



【学内ボランティア】

本学ダイバーシティ推進室共催
「ノートテイクー養成講座」

対象：本学学生



JWU 子育てサイエンス・ラボ

JWU 子育てサイエンス・ラボは、本学の総合大学としての学際性を生かした子育て関連の活動を行う機関として2021年に社会連携教育センター内に設立されました。「子育て×サイエンス」をキーワードに、子育てに関する支援・地域交流や情報発信に取り組んでいます。地域と連携しながら、誰もが暮らしやすい社会の実現に貢献できる場を目指しています。

ご登録はこちらから

●子育て情報会員募集中

JWU 子育てサイエンス・ラボでは、子育てサイエンス・カフェの開催情報やニュースレター「ゆりのき」など子育て関連情報をご登録いただいたメールアドレス宛にお届けします。



第22回
子育てサイエンス・カフェ



■メールマガジン、ニュースレターの発行

地域交流
と支援



JWU
子育て
サイエンス・ラボ

地域への
情報発信

日本女子大学社会連携教育センター分室 心理相談室のご案内

日本女子大学心理相談室では、地域の皆様の心の相談をお受けしています。子どもの発達や成長が気になる、対人関係、親子関係、自分の性格、将来・生き方など、安心して話せるお部屋を用意しています。相談は予約制です。詳細はHPをご確認ください。



●お問い合わせ

日本女子大学社会連携教育センター

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

TEL 03-5981-3748 E-mail jsc@atlas.jwu.ac.jp

Instagram



X



■各種「社会連携」事業にご関心をお持ちの方、どうぞお気軽にご連絡ください

